

『ウシガエル捕獲大作戦』を実施しました！！

9月30日(火)、箕面国有林の「花の谷(ビオトープ)」で「ウシガエル捕獲大作戦」を実施しました。

海外からやってきたウシガエルは、本来その地域に住む生物や生物多様性を乱すものとして、平成30年から「明治の森箕面自然休養林管理運営協議会」と協働で実施しており、ウシガエルを駆除することで在来生物の保護及び生物多様性の保全を目的として開催しています。

今年度は、地域の生態系を守る大切さを広く普及する取組として、一般参加者4名、「清水谷を守る会」、「箕面観光ボランティアガイド」、「箕面生物多様性会議」、「大阪府立環境農林水産総合研究所生物多様性センター」の各団体と当センターの職員を合わせて20名で行いました。参加者は、タモ網を用いて水草や泥の中に潜んでいるウシガエルを捕獲しようと試みましたが、今回の捕獲数は成体4匹のみで、またオタマジャクシは見かけることもなく、昨年度の成体4匹、オタマジャクシ205匹から大幅に減少しました。長年に渡る駆除の成果なのか、在来種であるトノサマガエル(準絶滅危惧種(環境省))、ヤゴ(トンボの幼虫)や水カマキリなどの水生昆虫が池の中にいることが確認できました。参加者からは、「花の谷」に生きる貴重な生物を守るため、来年度もぜひ参加したいとの感想もありました。

最後に、水生生物の専門家の大阪府立環境農林水産総合研究所生物多様性センターの丸山氏から、アカハライモリは毒があるので触った後は手洗いしなければならないことやギンヤンマとオオシオカラトンボ幼虫(ヤゴ)の見分け方などとともに、池の中に小さい水生昆虫が多くみられることは、食欲旺盛なウシガエルが少ない環境であることの証であるとのことをご意見をいただきました。

当センターでは、今後もこの活動を通して「花の谷」の生物多様性を守っていきたいと考えております。



池の中に入り捕獲



『アナコかご』で捕獲したウシガエル



アナコかご



ウシガエルの成体



熱心に生物観察する参加者



説明を受けている様子

森の癒しを体感！『みのお森のセラピー』

in
勝尾寺園地

10月12日(日)、箕面国有林の勝尾寺園地において「みのお森のセラピー」を実施しました。

このイベントは、森林ふれあい推進事業の一環として、NPO法人みのお山麓保全委員会と共催で実施しているもので、箕面の『森の癒し』をゆっくり満喫してもらい、五感を開放して森とシンクロナイズし、心と体をリラックスすることを目的として3名の方にご参加いただきました。

森のセラピーでは、まずセラピーアシスターからささやく声で問いかけながら、フィトンチッド(植物が発する揮発成分)をたっぷり吸いこみ呼吸を整える「森林深呼吸」、森と対話し、自然にいだかれ、ゆっくりしたウォーキング(サイレントウォーク)の「森林散策」、力を抜いて体と心を開放し、リラックスする「森林安息」を体験していただきました。

その後、ゆりかごに包み込まれ、ゆっくり過ごす「森のゆりかごハンモック」体験では、静かな森林の中、ハンモックから伝わる自身の呼吸で生ずるわずかな動きの反響を全身で感じ、ゆっくり・やすらぐ時間を過ごしました。

参加者からは、「森林・植物の香りをじっくりと味わえたこと、大自然の中でゆっくり休憩できたことが素晴らしい」、「毎日忙しくしていると色んな事を考えて疲れますが、今日はリフレッシュできたのでしばらくがんばれます」、「森のゆりかごハンモックに癒された」などの感想をいただきました。

参加した私たちも、ゆったりした気持ちで五感をとぎすますことで、多くの小鳥の声や車の音なども敏感に感じとり新鮮に感じました。



呼吸法(ローソクの呼吸)を体験



森林ストレッチを体験



木につつまれ休憩



大木を散策



ハンモック体験



ふうちゃん
(桐)
カエデ



らくちゃん
(桜)
クサギ



おうちゃん
(桜)
サクラ



デジ君